

そよかぜ便り

令和6年3月14日発行

本橋校長先生へ

Q&A

今年度新しく高四小に着任された本橋校長先生。穏やかな人柄と温かい笑顔で、子供たちと接するその姿勢は、信頼感にあふれています。そんな校長先生の素顔に迫るべく、そよかぜ本部では4つの質問をお尋ねしてみました。



本橋校長先生

質問1 苦手だった科目は？

回答

小学校では、音楽が苦手でした。頑張っても音がずれる、鍵盤の上でメロディーに合うよう指が動かない。正直、苦勞しました。教職を取る際にも、単位を取るのにずいぶんと時間がかかってしまいました。中学校では、英語でした。すべてが初めての経験で、何がなんだがわかりませんでした。でも、高校に進んで学習に慣れてきたのか、ようやく勉強の面白さが分かってきました。ですので、高四の児童が流暢に英語で話したり、正確な単語の聞き取りができる姿に感心しています。



質問2 動物にたとえると？



回答

「熊」です。時折、写真の中の自分や記録映像に映っている自分の姿をみて、そう思います。昔より、学生時分より15キロほど、増量してしまいました。冬が明けたら、活動を活発化させ変身を目指したいと思っています。

質問3 過去に遡るとしたら何時代に行きたいですか？

回答

やはり自分が生きてきた、「昭和(後半)」でしょうか。1980年代、テレビゲームが流行ったり、まだ空地も点在していて、そこで仲間と野球をして遊んだり、木登りやブロック塀をつたって遊んだりしていました。当時、所属していた少年野球のチームでは、河川敷にあるグラウンドで野宿をしながら合宿をしたこともあり、「自由」に生活していた時代という思い出があります。

質問4 子供たちを笑顔にする、とっておきの技は？

回答

やはり「がんばったこと」「できたこと」を褒めることだと思います。「すごいね」「よくやったね」「えらいね」と、その努力を認め、子供のいいところを価値付けられると、子供の笑顔につながるのではないかと思います。また、「笑い」は、脳の緊張と弛緩から生まれると聞いたことがあります。周囲の印象とは違う「意外」な言動が人を笑顔にさせることがあるようです。



お忙しいところ、真摯に質問に答えてくださった校長先生に感謝いたします。

これからも高四小の未来と、子供たちの成長に期待しています。



令和5年度そよかぜ本部 年間活動報告

今年度もそよかぜ本部は、地域と学校の架け橋としての役割を果たし、また子供たちの成長と学びの環境づくりのお手伝いをしてきました。ここでは、その活動内容についてご報告いたします。

4月、新しい年度が始まり、新1年生たちも学校に通い始める時、そよかぜ本部もその学校生活のスタートをお手伝いをすべく活動を開始しました。この時期の子供たちは、初めての学校生活にフ

クワクワと不安が入り混じった表情を見せてくれました。そよかぜ本部では、新1年生の集団下校の引率や6年生と協力して登校時の準備のサポートを行いました。

4・5月は、1年生～4年生の遠足があり、その引率のお手伝いをしました。暑かったり寒かったり、その時の気候はいろいろで、子供たちも登山や長時間の歩きなど、みんな頑張っていました。この時期、安全ボランティア全

体也会も開催しました。地域・警察と学校が連携して子供たちの安全について話し合う場です。地域全体で、散歩やお買い物、朝の見送り時など、各自できる範囲で子どもたちを見守っていきます。

6月から新年度の活動としてレインボークラブがスタートしました。また、体力調査のお手伝いもしました。高学年が低学年を導くような班分けがされて

いて、高学年の子供たちは責任感とリーダーシップをもち、班ごとに測定場所を回り、各項目に取り組んでいるようでした。お手伝いをしながらその様子を見ていましたが、みんな真面目にそして熱心に測定しているようでした。

7月には、「東京盲ろう者友の会」の方々の話を聞く4年生の授業のお手伝いをしました。東京盲ろう者友の会の協力によるこの授業は、盲ろう者の生活や困難さに触れることで、子供たちの視野を広げ、共に生きる力や思いやりを育む素晴らしい機会となったと思います。私たちも勉強させていただきました。



新1年生下校時引率



遠足引率のお手伝い



体力調査



運動会のお手伝い



どうぶつ将棋



漢字検定



茶道教室

6・7月は、1年生のプール着替えのお手伝いをしました。内容は、1年生の着替えとトイレのサポート、そして見守りです。特に着替えは、下着のまま水着を着てしまう子や、脱いだ服をどこかになくしてしまう子がいるので、サポートが必要でした。

7月24日から28日の夏休みプール期間は、図書館開放とすぎなみ塾を同時開催しました。すぎなみ塾は、大学生や地域の方に勉強を教えもらえる、そよかぜ本部が主催する寺子屋式の自習室で、今年アフターコロナで3年ぶりに復活しました。

9月は、2年生が自分たちの町を知るための「町探検」が行われました。子供たちが安全に町を歩けるように、一緒に行動しました。

10月、生活科見学で、多摩動物公園(2年生)、葛西臨海水族館(1年生)に行った際には、そよかぜ本部のメンバーも子供たちの引率のサポートをしました。花壇の整備もこの頃行って、音楽会へむけて雰囲気をもりあげ

ました。

12月、地域の安全や防犯に関する施設を回る3年生の「地域めぐり」の授業で、引率のお手伝いをしました。また、茶道体験教室(6年

生)や科学工作教室を開催しました。伝統文化や科学の面白さを実際に体験することで、子供たちの成長にも貢献できたと思います。

1月には本年度2回目となる漢字検定を実施しました。子供たちが日々の学習の成果を発揮する場となり、彼らの向学心と努力を改めて感じました。2月には、神明中学生徒との交流をする遊びのフェスタのお手伝いをしました。

このほか、年間を通じて図書ボランティアや学校ホームページの更新、花壇の手入れなど、子供たちの成長をサポートするための様々な活動を行っています。

そよかぜ本部ではこれらの活動を通して、学校と地域・家庭が協力し合い、子供たちが安心して学び成長できる健やかな環境づくりを目指しています。



花壇の整備



町探検引率



科学工作教室



時を越えてつながる、昔遊びの魅力

日本の子供たちが綿々と親しんできた「昔遊び」。その豊かな伝統を学び、次の世代へと繋ぐために、そよかぜ本部は学校からの依頼を受け、昔遊びの達人たちをお招きしました。

今年の1月20日(土)の学校公開日に、「昔遊び」の達人たち12名が先生となり、小学校の体育館にて、1年生の子供たちが、メンコ・けん玉・あやとり・お手玉・独楽・おはじきの6つの昔ながらの遊びを体験しました。

そこで、教える側の方から見た現代の子供たちの様子などのお話を昔遊びを教えて下さった地域の名人の方に、質問形式にて伺うことにしました。



メンコ

Q 今回、昔遊びをいくつか教えていただきましたが、実際教えてみて、子どもたちの反応や様子はいかがでしたか？

A (お手玉を)保育園でやったことのある子は確かに上手ですが、一年生だけに褒めて褒めまくってあげると近頃の一年生はとても覚えが早いのは驚きました。

Q ご家庭や学校でも今後子供たちに昔遊びを教えるにあたって、コツなどがありましたら是非教えていただきたいです。

A やはり褒め上げることです。回数を重ね身体で覚えることですかね。

Q 名人が子どもの頃は、毎日のように遊んでいたと思いますが、名人ご自身は得意な遊びはありましたか？

A ①ドッチボール ②馬乗り ③ゴムとび ④缶けり ⑤おはじき
馬乗りと缶けり、1~6年生が混ざって楽しんだものです。缶けりは、親が「ご飯だよ～」と言う暗くなるまでやったものです。



あやとり

Q 子供たちになにか伝えたいメッセージはありますか？

A 雨の日、曇りの日など校庭が使えないときは、室内で遊べる昔遊びがたくさんあります。是非覚えて遊んでみて下さい。

最後に
1年生からのお手紙を沢山いただき感謝！とても1年生とは思えない文章でした。



けん玉



お手玉

お忙しいところ、快く質問に答えていただき感謝しております。昔遊びは、全身を使って楽しめる遊びですし、何よりもコミュニケーションが生まれ、他人を思いやる心が育つと考えています。

この昔遊びに触れる機会が今回のような特別授業でしかないのがとても残念にも思っています。これからも大切なものを残して伝えていく機会をたくさん作っていきたいと思います。

そよかぜ本部では、いっしょに活動に参加して下さる方を募集しています。ご興味のある方はぜひお気軽にお問い合わせください。

連絡先

杉並区西荻南1-8-16 高井戸第四小学校
そよかぜ本部室 電話/FAX: 03-5941-8324
メールアドレス : soyokaze@bz03.plala.or.jp

高四小ホームページアドレス:
<https://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/index.html>

高四小学校支援本部アドレス:
<https://member.sugi-chiiki.com/taka4-soyokaze/>

